

# Be the Shine

～輝きを放つ起点となろう～

2023

2023年度 第66代 理事長 田中 雅久

# Junior Chamber International Odawara



# 進展

2022

～ Be Better ～

## 新入会員募集中

あなたの笑顔がまちをつくる



はじめました

小田原JC



公式 HP

- |              |                 |                 |               |                 |
|--------------|-----------------|-----------------|---------------|-----------------|
| 道場院          | 有限会社 まると        | 株式会社 丸江         | サイバーデザイン 株式会社 | 有限会社 成田建築       |
| 株式会社 エスアンドジー | 株式会社 恒心         | アサヒトーヨー住器 株式会社  | 株式会社 村山商店     | 弁護士法人 Kアライアンス   |
| 株式会社 トープラ    | 守屋てるひこ事務所       | ケービーシー          | 有限会社 富士バック    | 株式会社 ダイトー建設不動産  |
| 有限会社 小島商事    | 株式会社 清王サービス     | 株式会社 ハシモト       | 株式会社 星崎仲吉商店   | 株式会社 鬼平         |
| 株式会社 吉澤モーターズ | 有限会社 山田会計事務所    | 株式会社 山安         | 旭電機 株式会社      | 太陽建機レンタル 株式会社   |
| 大田和公認会計士事務所  | 鈴廣かまぼこ 株式会社     | 株式会社 柴田電設       | じんりき厨房        | 株式会社 カワセ        |
| 柏木歯科医院       | 株式会社 小田急エージェンシー | 田むら銀かつ亭         | 株式会社 ライジングサン  | 株式会社 田代吉右衛門本店   |
| 株式会社 河鹿荘     | マリン馬            | 株式会社 菊大         | 株式会社 マックスサービス | 合同会社 小田原かまぼこ発信隊 |
| 加藤千潮 様       | 株式会社 西電工        | 相模洋洗 株式会社       | OZAX工業 株式会社   |                 |
| 有限会社 ヒノデ     | 三栄管工業 株式会社      | 株式会社 大井松田カートランド | 株式会社 吉池旅館     |                 |

## 公益社団法人小田原青年会議所 年間事業報告書



平素より公益社団法人小田原青年会議所の運動に対し深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
 2022年度は、「世界を感動させる観光文化都市をめざして」の地域ビジョンのもと、「進展 Be Better」をスローガンに掲げ活動して参りました。このスローガンは、小田原青年会議所の更なる発展を目指すことはもちろん、その前提となる個々のメンバーの成長を強く願った意味が込められております。2022年前半は、2020年から続くコロナ禍の影響を強く受け、当初思い描いていた活動を思った通りできない日々が続きましたが、2022年後半になりますと徐々に実地での事業開催ができるようになりました。青少年教育事業としましては、地域の中学生を集めて実施した「おだわら未来創造塾～ジュニアハイスクール議会‘22～」を開催し、地域活性事業としましては、WithコロナAfterコロナを見越した新しい地域の魅力創出に向けた「おだべん。共創プロジェクト」を開催いたしました。そして、今年度最大規模の事業である「第35回国際アカデミーin小田原・箱根」は、当初7月前半の開催予定をコロナ禍の影響を抑えるために9月中旬にずらして開催し、世界69の国と地域からのメンバーと国内95名のメンバーが一堂に会し、笑いあり涙ありの充実したリーダーシップ研修を行うことができました。研修時間の合間に開催したご当地プログラムでは、報徳思想等この地域の発展に関係のある歴史・文化・食を体感していただきました。これら多くの事業を通じ、小田原青年会議所メンバー一人ひとりは大きく成長し、地域にお役に立てる人財へと近づいたはずでです。この経験を活かし、2023年度以降も小田原青年会議所は更なる進化をして参りますのでご期待ください。結びとなりますが、2022年度も多くの皆様にご支援ご協力を賜りましたことに心より感謝と御礼を申し上げます。一年間、誠にありがとうございました。



公益社団法人小田原青年会議所  
 2022年度第65代理事長 宮川 勝行

## 新春祈願会 事務局

2022年の始まりにあたり、由緒ある松原神社で一年の運動の成功と無事を祈願したことにより、小田原青年会議所の一体感と運動に対する士気向上を図れました。



## 賀詞交換会 1月例会 YouTube

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点からソーシャルディスタンスの確保や検温・消毒を行い十分な対策を行い昨年よりも多くの来賓の皆様をお招きして賀詞交歓会を開催しました。また、当日の様子を昨年同様Youtubeで配信を行うなどの工夫を凝らし、会場へお越しいただいた方にはもちろん、会場へお越しになれなかった方にも本年、宮川理事長率いる小田原青年会議所の運動がどの様なものなのか発信出来ました。



## ノン・バーバルコミュニケーション基礎研修 7月例会

JCI日本公認プログラムであるボディランゲージを受講し、言葉の壁等がある外国人との意思疎通における注意点を学ぶことにより、多くの意思が通じあえるようになるという基礎を学びました。ノン・バーバルコミュニケーションにはジェスチャーがあり、特に日本人が不得手なジェスチャーを使つての自己表現については時間をかけ、日本人と欧米人の動作の違いを比較しながら、言葉よりノン・バーバル（言語以外）でのコミュニケーションのほうがより伝わりやすいという事を、身を以って体験しました。国際交流を図る上での注意点を学ぶことにより、今後外国人との出逢いの場で言葉の壁等があったとしても多くの意思が通じあえるようになる基礎をメンバーが習得する例会となりました。



## 総会 財政局

本年度財政局では2月通常総会・8月臨時総会・11月総会を行い、前年度の決算や予算の再編成、次年度に向けての各種資料などを審議いたしました。また、毎月行われた財政規則審査会議では予算やコンプライアンスを精査し財務に対する意識を高めることで各委員会とかかわりを持ち時代に即した柔軟で健全な持続的組織運営に寄与しました。



# 二〇二二年度 役員紹介

監事	監事	監事	監事	顧問	専務理事	副理事長	副理事長	直前理事長	理事長				
牧野慎一郎	石井雅	平本祥啓	井上宗丈	一寸木慎也	池田大樹	原宗久	田中雅久	室伏菊寿	三宅貴之	宮川勝行			
組織拡大特別委員会 副委員長	アカデミー特別委員会 副委員長	国際アカデミー運営会議 副議長	財政局次長	事務局次長	地域共創委員会 委員長	地域教育推進委員会 委員長	組織拡大特別委員会 委員長	アカデミー特別委員会 委員長	国際アカデミー運営会議 総括幹事	地域愛醸成室 室長	事務局局長	財政局局長	室伏寿美夫
須藤洋介	古澤光宏	和泉剛司	佐藤佑	八尋大和	新井祐太	石綿秀規	永松範之	田代敬一郎	秋元洋平	松賀夏樹	大平剛志		

## 3月例会

### 「おだべん。」共創プロジェクト

～ODA-BEN・マリアージュ・カードゲーム～

### 地域共創委員会

今年度の地域事業の取り組みとして、ウィズコロナ・アフターコロナの時代に適用したものを模索するために、小田原青年会議所メンバーと地域住民・団体の方々が7つのチームに分かれ議論を行い、この地域に所縁のある様々な素材カードを用いて、多種多様の組み合わせ（マリアージュ）を考えることで、「おだべん。」というオリジナルお弁当の創作を行いました。どのチームも与えられた設定をもとに活発な意見交換を行い、楽しく、真剣に議論が展開され、この地域の魅力を再確認、発見しながらチーム毎に新しいアイデアが誕生いたしました。

その後、各チームの意見をまとめメンバーへ投票形式でアンケートを行い、新しく生まれたアイデアを小田原在住の方々へアンケート調査を実施し、「おだべん。」の素案が完成いたしました。



## 10月例会

### 「おだべん。」共創プロジェクト

～OBENTOフェスタ2022～

### 地域共創委員会

今年度の地域事業として、コロナ禍により新しい生活様式へ移行している現状を踏まえ需要が高まっている、テイクアウト＝お弁当にターゲットを当て、自分たちのまちの魅力を自分たちでつくる取り組みとして「おだべん。」共創プロジェクトを立ち上げました。

3月例会にて、地域の住民や飲食店の意見をもとにマリアージュ・カードゲームを行い、小田原青年会議所のメンバーや地域団体の方々とアイデアを出し合い、その結果を、地域住民の方々へアンケートを実施し内容の精査を行い、株式会社東華軒様のご協力のもと「おだべん。」がついに誕生し、10月例会にて発表・販売させていただきました。当日は株式会社ジェイコム湘南・神奈川 西湘局様からご協賛を賜り、お笑い芸人「TOKYO COOL」のお二人と石田 江利様に会場を盛り上げていただき、「おだべん。」の発表・販売に合わせ、地域の魅力的な飲食店やお楽しみブースを展開し、「おだべん。」100個を含むお弁当総数455個を完売することができました。

地域住民と共創して創作した「おだべん。」が広く発信され、多くの方々に地域の今ある魅力や新しい魅力を体験していただく機会となり、笑顔の溢れる例会となりました。



## 募金活動について

**2月24日・25日**  
トンガ沖海底火山噴火への支援募金を小田原駅アークロードにて行いました。多くの皆様からご協力をいただき、募金結果は104,743円でした。お預かりした募金については、4月6日、ホテルサンライフガーデンにて宮川理事長よりトンガ大使館のラトゥ代表に直接お渡しいただきました。



**10月24日・25日**  
台風15号静岡被災支援募金を小田原駅アークロードにて行いました。多くの皆様からご協力をいただき、募金結果は132,848円でした。お預かりした募金については、静岡青年会議所を通じて小田原青年会議所が責任を持って被災にお届けします。ご協力をいただきました皆様へ改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。



## 防災活動について

**2月18日**小田原アリーナにて、小田原市防災課・社会福祉協議会・地域団体とボランティアセンターの設置に関する視察を行い、各団体の皆様と意見を交わしました。

**8月29日、9月6日**箱根町社会福祉協議会と連携し箱根町の防災訓練に参加いたしました。8月29日の事前準備では、ボランティアの方々の受付から振り分けを行う点の予行演習を行い、9月6日には他の団体とも協働して一連の流れを実演いたしました。

**9月4日(日)**湯河原町の防災訓練に参加し、湯河原町社会福祉協議会事務局にてボランティアセンターの設置に係る動きに関して湯河原町社会福祉協議会の方々と打ち合わせを行いました。防災に関する活動を通して、日頃の備えが重要という点を改めて認識し、われわれ青年が地域と連携して準備することが非常に大切だと感じました。



## 4月例会

### おだわら未来創造塾

～ジュニアハイスクール議会'22～ 開塾式・決める力を養おう!!

### 地域教育推進委員会

今年度の青少年育成事業として、小田原市ご後援のもと、小田原市内在住・在学の中学生を対象とした「おだわら未来創造塾～ジュニアハイスクール議会'22～」を全4回で開催しました。次代の地域を担う人財である青少年向けに社会教育体験として、決める力を身に付け、地域を学び課題を見つけ、市議からレクチャーを受け質疑や提言を作成し、小田原市議会議場でジュニアハイスクール議会'22を行いました。第1回目となる開塾式では、全国各地で子どもから大人を対象に授業や講演を行い、現在は大学院教授も務めておられます、三谷宏治氏を講師にお迎えし、「決める力」とは何か、意思決定の仕方や発展的な議論の仕方を学びました。講演内容は、意思決定の仕方から、重要思考の解説に、2回のワークショップによる体験型授業で行われ「ただ聴くだけ」の授業ではなく、ワークショップを通して楽しみながら「決める力」について学び、身につける訓練をしました。参加者からの感想も「ワークショップで、個人の結果よりも集団での結果の方が点数良くて驚きました。」「普段なんとなく決めていたが、決めることの重要性に気づかされました。」など好評の声を多くいただきました。また、参加中学生には「オリジナル名刺」を作成し、参加者同士の自己紹介や、小田原市長との名刺交換を行い、和気あいあいとした交流ツールとして活用いただけました。



## 8月例会

### おだわら未来創造塾

～ジュニアハイスクール議会'22～

### 地域教育推進委員会

おだわら未来創造塾の最終回はジュニアハイスクール議会を開催しました。小田原市議会議場を使用し、今までとは違う緊張感に包まれながらも立派に小田原市長に意見をしていた姿が印象的でした。質疑や提言の内容も我々が普段創造しないような内容もあり、大変刺激を受けました。議場で小田原市長と対峙して直接意見交換できたことには、中学生達にとって素晴らしい経験になったようでした。また、場所を移して中学生達には意見書を作成していただき、市長からの回答を受けて、グループでディスカッションしながら、議場での緊張した面持ちとは変わって、非常に和やかに盛り上がっていた姿が印象的でした。最後に参加証明書と記念品を贈呈し終了となりました。今回で、おだわら未来創造塾は全4回の事業を終え、コロナ禍で地域教育の機会が減少している中で、私達が地域教育を推進し、機会を提供させていただいたことに、学校関係者や保護者や中学生達からも感謝の声を多くいただくことができました。



## たんぼの恵を感じる会

「四季の中で地域コミュニケーション共有」のスローガンを下に、日本で長年に亘って営まれてきた農業を中心とする村の生活を、四季折々の自然や行事のあるコミュニティの中で子どもも大人も共に体感し、今の生き方を見つめ直し考える場となることを目標に、田植え～草取り～観察会～稲刈り～収穫までを行いました。地域のボランティアの皆様とともに、小田原青年会議所メンバーと多くのご家族も参加させていただきました。





# 第35回 国際アカデミー in 小田原・箱根

## 2022 JCI ACADEMY IN ODAWARA HAKONE

### 9月 15日 海外デリゲイツ(参加者)お出迎え

第35回国際アカデミーに参加される69カ国の海外デリゲイツの皆さまを小田原駅にて宮川理事長と共に小田原JCメンバーでお出迎えいたしました!これから開催される国際アカデミーに向け胸躍らせながら日本へいらっしゃいました!



### 9月 16日 学校訪問プログラム

学校訪問プログラムでは「小田原市立三の丸小学校」「小田原市立片浦小学校」「函嶺白百合学園」「湯河原町立湯河原中学校」の4校に訪問し、海外デリゲイツの皆さまは各学校独自のプログラムに参加し、地域の学生たちとふれあい、貴重な国際交流の場を体験されました。学生の皆さまも歓迎の意を示していただき、普段では経験できない体験を楽しんでいただきました。



### 9月 16日 ホームステイマッチング

報徳二宮神社 報徳会館にてホームステイマッチングを行いました。ホストファミリーの皆さまと海外デリゲイツのファーストコンタクトの場です。お互い期待に胸を膨らませ、緊張しながらもデリゲイツの皆さまを暖かく迎えていただきました。会場内は明るく楽しい雰囲気でのマッチングが進みました!



### 9月 16日 理事長招待レセプション

報徳二宮神社 報徳会館にて理事長招待レセプションを行いました。世界各国からお越しいただいたデリゲイツの皆さまへ向け、我々の地域ならではのおもてなしで歓迎の意を示しました。まずは、宮川理事長から「ようこそ我々の地域へ、そしてこれからはじまる国際アカデミーが皆様にとってかけがえのないものとなる様、精一杯おもてなしさせていただきます」という挨拶からはじまり、アトラクションとして創作和太鼓集団の皆さまによる迫力のある太鼓が奏でる「音」が会場全体を包み、忍零の皆さまによる戦国時代の小田原北條氏を陰で支えたと言われる風魔忍者のパフォーマンスショーを行なっていただきました。



9月

# 17日 開催地エクスカージョン(湯河原観光)

開催地エクスカージョンでは共催である湯河原町の皆さまにご協力いただき、万葉公園の散策やパークゴルフ体験を行いました。海外デリゲイツと通訳ボランティアの皆さまと交流を図りながら、開催地の魅力を存分に触れていただくことができました。



9月

# 16日~18日 ホームステイ

3日間のホームステイ期間中はホストファミリーの皆さまのご協力をいただき、それぞれのご家庭でのおもてなしによりホームステイという貴重な体験から得る「絆」をデリゲイツの皆さまと育むことができました。日本の生活文化・習慣を肌で感じ、日本をより深く理解していただけたと思います。



9月 19日 ウェルカムパーティ

湯本富士屋ホテルにてウェルカムパーティーを開催いたしました。まずは国指定無形文化財の湯立獅子舞を披露しました。箱根で江戸時代から続くとされ、悪疫を払い健康を願う目的で獅子が舞を踊るものであり、参加者の皆さまの健康を祈願いたしました。つぎに我々の活動エリアである一市三町の各首長、小田原市長 守谷輝彦 様、箱根町長 勝俣浩行 様、湯河原町長 富田幸宏 様、真鶴町長 松本一彦 様の皆さまよりご挨拶を賜りました。そして、鏡割りで乾杯から始まり、箱根の芸者の皆様による伝統的な踊りを披露し、我々の地域ならではの文化を発信しました。最も盛り上がりを見せたのは日本でも珍しい芸者バンド「娑婆羅」による芸者衆によるバンド演奏、会場一体となり大いに盛り上がりました。この地に来ていただいたデリゲイツの皆さまにおもてなしの心を持ち、国内・国外デリゲイツの皆さま楽しんでいただきました！



9月 21日 開催地プログラム①

開催地プログラム「開催地を知る!報徳思想と、HOT一息ティータイム」を湯本富士屋ホテルにて開催いたしました。地域文化を知っていただくため、小田原の文化の一つである「お茶」について、茶道家のランディーチャネル宗榮氏にご講演いただき、小田原三茶人の説明をまじえ、2022年度国際アカデミーのテーマである「恩贈り」にも関連して、「他者へ尽くすこと、利己的な考えでは地域発展の持続性に繋がらないこと」をテーマの中心としてご講演いただきました。また、デモンストレーションとしてお茶のお手前の披露も行いました。お客さま役として宮川理事長、木村美里さんが参加しました。つぎに、小田原生まれの偉人である二宮尊徳が考え出した「報徳思想」の知見を深める場として、現代の地域振興で「報徳思想」を活かす活動を行っている報徳二宮神社の宮司 草山明久氏にご講演いただきました。二宮尊徳の考え方や手法などを学び、実際に草山氏がその教えを今に活かして実践されている事業などについてもご講演いただきました。



9月 22日 開催地プログラム②

開催地プログラム「開催地を知る!SAMURAI×NINJA exercise」を湯本富士屋ホテルにて開催いたしました。本プログラムでは一週間の研修期間を過ごすデリゲイツの皆様をリフレッシュさせるラジオ体操から始まり、クイズ大会や居合の披露などを行い気分転換となる時間を提供でき、笑顔あふれる場となりました！



9月 22日 フェアウェルパーティー

小田原城本丸広場を舞台にフェアウェルパーティーを開催いたしました。小田原青年会議所として設える最後の事業は雨の合間を縫って開催時には奇跡的に雨が降り止み、皆さまと最後の時間を大いに楽しむことができました。フェアウェルパーティーにはデリゲイツや日本の委員会の皆さまはもちろん、ホストファミリーを担っていただいたご家族や、通訳ボランティアの皆さまなど、事業に携わった方々にご参加いただき、国際アカデミー in 小田原・箱根の終了を盛大に祝しました。アトラクションとしてODAWARAえっさホイ踊りの皆さまにえっさホイ踊りを披露していただき、会場を盛り上げていただきました。帰国前の最後の時間を惜しむように、和気あいあいとした雰囲気で行われました。



## 6月例会

# 未来を想う物語 ～国際アカデミーが紡ぐもの～ 国際アカデミー運営会議

6月21日(火) おだわら市民交流センター UMECOにて「未来を想う物語～国際アカデミーが紡ぐもの～」を開催いたしました。  
 本例会は9月に開催予定の国際アカデミーについて地域行政、関係諸団体の皆様をお招きし発信いたしました。国際アカデミーの概要説明や小田原青年会議所が目指すビジョンの発信、9月の開催に向けての計画を皆様に提示し、地域一丸となって国際アカデミーを開催したいという想いを発信させていただきました。地域行政、関係諸団体の皆様にはご参加いただきましたこと、心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



## 11月例会

# 進展 ～紡ぐ想い～ 2022 AWARD CEREMONY 国際アカデミー運営会議

11月22日(火) おだわら市民交流センター UMECOにて  
 公益社団法人小田原青年会議所11月事業発表例会「進展～紡ぐ想い～2022 AWARD CEREMONY」を開催いたしました。  
 例会は今年一年間各委員会が行ってきた事業・例会を振り返り、各委員会が事業・例会に込めた願いや想いを共有し、紡いできた襷を次代に繋いでいく貴重な時間となりました。本例会では褒賞授与式も行い、メンバーや委員会が行ってきた今年一年間の功績を称える場でもありました。



# 小田原、神奈川、日本各地そして活動は世界へ!!

## 2022年度 京都会議

1月19日(木)～23(日) 国立京都国際会館にて公益社団法人日本青年会議所2022年度京都会議が国立京都国際会館で開催されました。本年度は新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、国立京都国際会館へ入場する際は毎日、現地屋外の抗原検査実施による陰性確認をしてから入場するなどし、徹底した感染対策の下、参加をさせていただきました。会頭所信をはじめ、日本青年会議所の運動の起点として開催され、小田原JCからも出向者支援として多くのメンバーが京都に駆けつけました。



## 第70回関東地区大会 荊崎北杜大会

7月2日 山梨県北杜市小淵沢町にて第70回関東地区大会荊崎北杜大会、～大会テーマ～『進化』を掲げ、～つながり共に創り、共に生きる社会へ、～が開催されました。新型コロナウイルス感染症の流行がひと段落していることもあり、関東地区内の多くのメンバーとも交流する事が出来ました。式典では、JC小田原の先輩である関東地区JCシニアクラブ会長、飯沼 寛雄先輩のご挨拶もございました。



## 全国大会:おいた大会

10月6日(木)～10月9日(日)「第71回全国大会おいた大会」に参加いたしました。全国大会は全国のメンバーが一堂に会し、様々なセミナーや、40歳を迎えるメンバーの卒業式が行われます。JC小田原からは16名が参加し卒業生は9名の参加となりました。



## 2022年JCI ASPAC 堺高石大会

5月26日～5月29日 大阪府堺市堺区にて2022年JCI ASPAC堺高石大会「Once in a Lifetime Opportunity」～Treasure This Moment～(一期一会～この瞬間が宝物～)の基、開催されました。JCI日本に出向しております経済グループ担当常任理事 三宅 貴之君、室幹事 松賀 夏樹君、国際アカデミー委員会 副委員長 平本 祥啓君の応援も兼ね ASPACへ参加し、普段は見えづらいLOMを代表して出向しているメンバーの勇姿を見ることができました。総会IIでは各国のNOMの皆さまへ、宮川理事長が国際アカデミー委員会 鍋田委員長とともに「第35回国際アカデミーin小田原箱根」のPRがなされました。ハイブリッド開催のASPAC堺高石の地にて大盛会となる大会に参加をしたことで有益で貴重な機会となりました。



## サマーコンファレンス2022

7月16・17日 横浜にて「サマーコンファレンス2022」が開催されました。サマーコンファレンスは日本青年会議所の最大の運動発信の場として、経済・国際・環境など、多くのセミナー・フォーラムが開催される大会であり、岸田首相、山口環境大臣をはじめ、多くのご来賓・講師の方の貴重なお話を直接伺う、大変学びある大会となりました。そして、特に本年度はサマーコンファレンスを取り仕切る経済グループ担当常任理事として日本青年会議所にご出向されている三宅貴之君をはじめ、松賀室幹事や佐藤委員も活躍することができました。



## 神奈川ブロック大会

9月2日・3日 平塚にて「第50回神奈川ブロック大会平塚大会」が開催されました。新型コロナウイルスの情勢が落ち着いた状況ではありませんでしたが、ハイブリッド開催となった神奈川ブロック大会において、様々なファンクションが設営されており、多くの学びの機会を得ることができました。本年度、神奈川ブロック協議会に出向している一寸木監査、船岡副議長、古川小幹事も活躍しました。



## 2月例会

### WEBで異業種100人交流会 だべんべえ〜よin小田原

2月15日(火) 2月例会「WEBで異業種100人交流会 だべんべえ〜よin小田原」を開催いたしました。当初は実地会場に集まり、名刺交換会などの交流会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みて、Zoomによるオンライン開催を行いました。例会当日は、名刺管理アプリ『my Bridge』を使用しているオンライン名刺交換会や、Zoomの機能『ブレイクアウトルーム』を使用して、10名弱のグループに分かれて、交流会を行いました。また、弊会の卒業生、石井雅先輩、牧野慎一郎先輩に当時の青年会議所での経験や、その経験から得たものを、どうビジネスへと繋げたかなどのお話を、トークセッション形式でお話していただきました。



### 組織拡大特別委員会



## 5月例会

### シニアクラブ合同創立記念例会

### アカデミー特別委員会

5月16日(月)、箱根湯本富士屋ホテルにて、公益社団法人小田原青年会議所5月例会「シニアクラブ合同創立記念例会」を開催いたしました。3年ぶりとなる実施での開催をシニアクラブと現役が一堂に会し、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで盛大に開催されました。例会においては、65年間の事業をムービーにして、当時の担当委員長の皆さまに事業の想いや実施に至る背景などをお話いただきました。また90名を超えるシニアクラブの先輩方に見守って頂く中で新入会員認証式が行われましたそして田中実行委員長より「第35回国際アカデミーin小田原・箱根」のPRをさせていただきました。シニアクラブの皆様には多くのご参加を賜り名刺交換など交流を図ることができました。



## 12月例会

### 卒業生を送る会

### アカデミー特別委員会

12月6日(火)、箱根町のホテル南風荘にて12月例会「卒業生を送る会」を開催いたしました。多くの活躍を積み重ねた20名の卒業生に対し、現役メンバーから敬意と感謝をお伝えし、卒業生を送り出す場となりました。例会開催担当のアカデミー特別委員会が一致団結し作り上げたことで会場全体が感動に溢れ、今年度を締めくくる素晴らしい例会となりました。多くの貢献をされた卒業生から熱いスピーチをいただき、現役メンバーが今後の活動の糧とし小田原青年会議所が繁栄し進展していく一助となりました。



ご卒業おめでとうございます  
～ 卒業生一覧 ～  
今度ともよろしくお願い致します



## 9月例会

### 国際アカデミーナイトセッション」 ～和になって踊ろう～

### 組織拡大特別委員会

9月20日(火)9月例会「国際アカデミーナイトセッション」～和になって踊ろう～を、湯本富士屋ホテルにて開催いたしました。国際アカデミーは日本青年会議所が世界各国から20~40歳のメンバーを招き、リーダー研修や交流を深めるプログラムです。35回目となる今回は小田原青年会議所が主管を務め、海外メンバーは69か国から69名が参加し、国内メンバーは全国各地から95名の合計164名が参加して行われました。本例会では国際アカデミー参加者が交流を行うナイトセッションに、私たち小田原青年会議所メンバーも参加をして、お茶(お点前)や書道体験、盆踊りを一緒にに行い、様々な国や地域のメンバーとの友情を深める機会となりました。



## ～ 2022年度 新入会員紹介 ～



## 2022年度 褒賞授与式

